

■唐津港港湾管理者挨拶：佐賀県知事代理 佐賀県県土づくり本部副本部長 山下 孝一

皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、この講演に参加していただきましてほんとにありがとうございます。ただいま紹介いただきました私は、唐津土木事務所の所長をしております山下と申します。本来であれば、知事をご挨拶申し上げるところでございますけれども、所用によりましてかわって挨拶をさせていただきます。

まず、本日講演をしていただきます田崎真也様、並びに商船三井客船の嶋田取締役様には、今月の17日及び18日のにつぼん丸の唐津港寄港に際しまして、非常にご協力いただきました。唐津港を利用させていただきますこと、この場をおかりしましてお礼を申し上げます。

さて、唐津港は古くから大陸との交流、交易の要衝の地として栄えてまいりました。現在は、建設資材あるいは石油類などを中心とした国内外の物流に加えまして、観光並びに水産などの機能をあわせ持つ港でございます。さらに、先ほど坂井市長さんからもありましたけれど、唐津港の東港地区にある緑地広場では先月に自動車ラリー大会が開催されまして、トヨタ自動車の豊田社長、あるいはAKB48のメンバーが来場されております。このようにさまざまなイベントが開催されておりまして、市民が集う憩いの広場としてのにぎわいを見せているところでございます。

この新しい岸壁でございますけれども、先ほどもありましたように、現在国において水深9メートルの耐震岸壁を整備していただいております。平成28年3月の春には完成する予定だとお伺いしております。新しい岸壁が完成し、ここにクルーズ船が接岸すれば、先ほどもありましたように、唐津の誇る唐津城あるいは虹の松原といったすばらしいロケーションでお出迎えすることができます。私ども港湾管理者としましても、より使いやすい港になるよう努力していく所存でございますので、嶋田様にはにつぼん丸の唐津港への寄港、今後もよろしくお願い申し上げます。

最後になりますけれども、今回この唐津の地で開催されます日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会を通じまして、本日ご出席の港湾の連携がさらに進み、交流がますます盛んになることを心から願ひまして、管理者としての挨拶とさせていただきます。本日はまことにありがとうございます。